

高齢者介護が子育てに与える影響に関する考察

樋口恵子

人生 50 年時代は家族の標準的世代は 3 世代であった。今、人生 80 年から一世紀社会を迎え、世界一の晩婚国、日本にあっても、親子四世代が同時に生存することが一般的となった。にもかかわらず、高齢期の親子関係、高齢期の祖父母、中年初老期の父母、思春期・青春期の孫の自立のあり方に関するモデルがまだ示されていない。本研究は、長期化するタテの家族関係にいかに対応すべきかを考察することを目的とし、現実に存在する思春期・青春期の孫と高齢者、とくに祖父母にあたる要介護高齢者と父母世代の葛藤に着目したものである。

本年は「女性の視点から家族介護についての実態調査」から、高齢者介護と同時に思春期・青春期子育てのストレスに悩む母親の訴えを、同調査自由記述から代表例をピックアップしたものである。

- 1 (1) 介護者年齢 47 歳 女 神奈川県
(2) 家族構成 自分(47)、自分の母(83)、夫、長男、長女 計5人
(3) これまでの介護歴 1人、8年
(4) 現在の心身の状態になるまでの経過
平成2年、脳こうそくで右手、言語、右半身まひ 9月 12月退院 リハビリで克服したが、1人では歩けなくなった。が、手すりにつかまったりして家の中では何とかトイレぐらい行っていた。平成9年6月入院 9月退院 脳こうそく再発で、左手、左半身、構音障害(飲みこみ困難)。ほとんど寝たきり状態。1日に3~4回介助されてトイレへ行く。
(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について
家のローンがあり、長男の受験も控えているので、できるだけ働きたくて相談した結果、デイサービスやヘルパー派遣など考えてくださいましたが、(日)はないため自分が休めない。精神的にも、肉体的にも、自分の子どもたちの食事などもおそろそかになってしまう。
- 2 (1) 介護者年齢 45 歳 女 愛知県
(2) 家族構成 自分(45)、夫の父(75)、ほか計6人以上
(3) これまでの介護歴 1人 0.8年
(4) 現在の心身の状態になるまでの経過
同居するはじめから義父中心の家族関係で、すべて絶対的服従の生活でした。義母もひとことも口答えできず、家族も言いたいことを言い、皆ん

なでものごとを決める雰囲気は全くなくなりましたが、ここに来て義父が弱ってきましたが、優しい言葉を言われても本気で返事をする気持ちになれません。一緒にいて楽しくありません。これから先、もっと手がかかる様になると思いますが、私は、義父のめんどうはみたくありません。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

今は義父が介護できるのでよいが、コレステロール値が高く通院もしている。今後母が入院でもするようなことになればパート勤めをやめざるを得ないが、子どもを3人かかえて教育費にお金がかかり勤めをやめるわけにはいかないのが現実である。

- 3 (1) 介護者の年齢 48 歳 女 千葉県
(2) 家族構成 自分(48)、夫の父(79)、夫、子ども 計4人
(3) これまでの介護歴 1人 2年
(4) 現在の心身の状態になるまでの経過
2年前の10月、左足が麻痺して動けなくなり、寝たきりになった。6ヶ月病院で、昨年3月自宅介護と言われた。原因は脳こうそく。倒れる前にも2回入院している。元気なころ、歩くようすすめても絶対に動かず、失禁など多くなり、しだいに悪くなっていった。
(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

ショートステイは2ヶ月前に予約で、急用の時に義父をあずけるところがない。歯が1本なくなり、食事作りが液状にしないとのみこめず、ますます時間がかかる。夫や子どものこともあり、忙しすぎて疲れる。

- 4 (1) 介護者年齢 37歳 女 高知県
(2) 家族構成 自分(37) 夫の父(73) その他
ほか 計6人以上
(3) これまでの介護歴 1人 3年
(4) 現在の心身の状態になるまでの経過
3~4年前骨折する。その前は自宅で閉じこもりがちであった。入院治療。
その後1年半前、急に呆け症状あり。日中はデイケアに通うようにする。最近は少し呆け症状がまし。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

両親が年老いて、世話が必要。それに私たち2人は共稼ぎ。それもそれぞれが責任ある仕事で、帰りも遅い。そして子どもはまだ小学生。子どもにも手をかけてあげたいのに時間がない。

- 5 (1) 介護者年齢 43歳 女 岩手県
(2) 家族構成 自分(43) 夫の父の妻(72)、
夫、子ども3人 計5人
(3) これまでの介護歴 3人 12年
(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

S61年9月に脳出血のため半身不随になり、自分自身の身の回りのこともできなく、3~4ヶ月リハビリで、手の運動がよくなり、自分で食事が出るようになりました。自宅で介護しておりましたが夫の入院後、1人での食事をおっくうがり、介護者をたよる様になりました。3年前に夫を亡くしショートステイなどを使用しながら(私の腰痛のため)、家庭で介護しておりますが、今年の春すぎより自分で食事をする事が出来るようになりました。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

数回腰痛をおこしており、その他農業の全面的労働で体がきつい。介護される人はわがままで言いたい放題、その方の娘は手伝いもしてくれない。

12年間介護してきている。30代からなので自分の人生でありながら、私も子どもたちもいつもぎせいにってきている。実の娘は何一つしない。

- 6 (1) 介護者年齢 66歳 女 埼玉県
(2) 家族構成 自分(66) 夫の母(93) 夫、
娘 計3人
(3) これまでの介護歴 1~3年未満
(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

S61年夫(おじいさん)が世話をしていた。義母は(左手、耳が不自由・歩行も不自由だったので夫が介助)夫が亡くなって週3回、ヘルパーが対応してくれていた。武蔵野市と公社から対応してもらっていた(配食とヘルパー他)。長男の妻と妹が泊まりがけで家事と介護を1年間続けたが、さびしいと冷酒を飲んで寝込んでしまう事が多くなった。病院から何十種類という薬をもらい飲み続け副作用が重なり一歩も歩けなくなった。トイ

レにも行けず放尿された中にうずくまっている状況。一人暮らしをとことん頑張ったが自分で補聴器をはずしマンションの鍵をかけて寝込んだら誰も入れず、トラブルが重なり、子どもたちが話し合ったが誰も引き受けると言い出す人はいなかった。現在は介護者の努力でなんとか歩行出来る様になり(家の中) デイサービスを週2回、介護者宅に来てしばらくして通う様になり元気になった。
*薬は全部やめさせた。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

介護者自身の病気(ケイツイ症)と疲れによる左半分頭痛、耳鳴り、手・足のしびれ、目がしょぼしょぼして疲れがとれない。

三度の食事をきちんと時間通りに毎日一人で準備しなければならない為、ストレスになり、血が頭にカーッと昇ってしまう。(一人で自転車で走り回りたくなる)

夫の会社の相談から、娘の結婚問題まで対応しなければならない。

ボランティア活動に行っても(会食サービスのお弁当づくり)失敗ばかりする様になり出られない状況。

*時々一人で(昼食・夕食を作らず)勝手に動きまわりたくなる。手足を大の字に伸ばして寝たい。

- 7 (1) 介護者年齢 54歳 女 埼玉県
(2) 家族構成 自分(54) 夫の父(87) その他 計6人以上
(3) これまでの介護歴 4人以上 3年
(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

前立腺肥大の手術(60歳)後、尿の出が悪くなってからじょじょに肺機能が悪化(職業病)80歳くらいまでは元気だったが、かぜ、便秘、痔が悪くなり足腰が弱って来た。

とくに昨年1月頃より状況が悪くなって来たため、昨年末で家での小売業をやめて介護に当たる様になった。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

現在、両親共要介護となっている。夜の介護は此の頃夫が隣に寝て手助けが必要な時声を掛けて一緒にする様になったが、義母もたいへんな状況で娘と3人で介護しているが、子どもたちがいなくなったら大変介護が不安。施設等へは行きたくないし、入れるわけにはいかない。

- 8 (1) 介護者年齢 46歳 女 福岡県
(2) 家族構成 自分(46) 実母(83) 2男、
3男 計4人
(3) これまでの介護歴 1人 2年
(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

H.7.12月庭で転倒し足に水がたまっていたものが、血液がたまり1ヶ月近く入院する。

H.8.3月に部屋で転倒したことで頭にこぶが出来た為、病院へ行くと水頭症とのことで3月に

手術。

今まで足が悪いながらも家事を出来る事はしていましたが、2度の入院と思わない手術で、不安と動けなくなった(手と足の動きがにぶい)為、一日中、ベッドの上で寝起きし、テレビもラジオも見ようとしなくなった。本人の意識が老化を認めたくない、心と身体のギャップに本人が悩んでいます。手足が動かなくなって、残る左手も動かなくなるのではと不安。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

山手で送迎車が迎えに来て、車いすで坂を降ろす人は限られるので病院に行く回数が減る。

母子家庭で収入を得る為に必死で働いてきたが、母の病気の介護の為、何度も仕事を変えざるを得なかった。現在はホームヘルパーとして短時間の仕事と介護で収入を得ているが、子どもが進学、就職、私の疲労からくる(うつ状態)のくり返しで、母との介護で困った時、子どもに相談してきましたが、子どもたちも自分のことで精一杯で、子どもとの人間関係までがおかしくなる時があり、私も少ない時間の中、病院へ行くが心療内科は時間がかかる為、心のケアと母とのストレスがたまりまします。

9 (1) 介護者の年齢 42歳 女 福岡県

(2) 家族構成 自分(42)、夫の父(83)、その他 計6人以上

(3) これまでの介護歴 2人 3~5年未満

(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

新築して5ヶ月ほどして、時間の見当がつかなくたり(雨戸を夜中にあけたり、昼にしめたり)、ベット横にポータブルトイレを置いてあるのに、洗面所、流し、自分の座るいすで排尿したりするのがこの頃毎日です。おかしいなあと思いつつ、何も食べていないのに口をいつもペチャクチャ鳴らしている。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

排尿する場所(部屋の内どこでも、洗面所、流し)私在家に居るときは見えますが留守中のことを考えると。

子ども3人にかかる時間がない。長男は高2、次男は中3で受験前。三男は転校してきつい部活に入っていて思う様に子どもにつきあってあげられない。

私がいると自分のことをしようとしなくて、私をしょっちゅう呼ぶ。

夜中、部屋の中を歩き回り、部屋のものを動かして回る。

右半身不随、喉頭ガンで話が出来ず、この頃何を言っているのか分からない。食べ物のがのどを通りにくいので料理も考えながら、時間も1時間半以上かかる。

10 (1) 介護者の年齢 52歳 女 長崎県

(2) 家族構成 自分(52)、夫の母(82)、夫、子ども2人 計5人

(3) これまでの介護歴 1人 1~3年

(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

H8年初めまでは、外出をたまにし、草取りなどもしていたが、H8年6月頃から状態が変わってきた。当初、薬のせいかと思っていたが、時間がたっても変わらず、かかりの医者に相談し、診察を受けた。結果、脳こうそくの症状があるとの診断があった。

本人は排尿をたいへん気にしている様であるが、現在も排尿に手間がかかっている。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

仕事しないと、生活、子どもの進学させられない為にゆっくりと介護してやりたいが出来ない。一人にすると火の始末、排尿の世話が出来ない。ぬれたふとんの洗濯が夏はいいけど冬がかわかなくて気になる。ぼんやりしている母を見るとやっぱり施設が良いかなあ!

11 (1) 介護者の年齢 48歳 女 福島県

(2) 家族構成 自分(48)、夫の母(84)、夫 計3人

(3) これまでの介護歴 2人 7年

(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

最初はアレ?と思う位から始まり、一年のうちに数回、おかしいと思うようになりはつきり異常と思うようになったのは最初のアレ?から3年位の時間が経過した。自分の身の回りのものを自分でどこかにしまい忘れ何でもかんでも嫁が盗んだと言って一日中嫁を追い回すようになった。この頃は同居している者にしかわからず、とくに他所に住んでいる配偶者の兄妹達からも白い目で見られ、特につらい時期だったと思う。この頃から徘徊も始まった。完全に周囲もぼけていると認識できるまで5年位かかったと思う。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

夫の兄弟達の理解が得られない。徘徊をくり返しさがしまわるのが大変。受験勉強中の息子もかり出さねばならない事も度々である。徘徊のためタクシーを使う事も度々あり、どこまでもタクシーを乗り回し、その代金のため大変な思いをした。あげく、老後のためにと用意しておいた貯金(本人)もぼけたとわかると実の娘がもって行ってしまった。

12 (1) 介護者の年齢 44歳 女 広島県

(2) 家族構成 自分(44)、夫の母(80)、夫、娘2人 計5人

(3) これまでの介護歴 1人 2.5年

(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

約5年前から几帳面だった義母が借りた物を返さない、同じ話を何度もするようになった。3年前頃から薬を今飲んだのに忘れてまた飲もうとし

たりして、痴呆の症状が目立ってきた。そこで我が家に2年半前に引き取り、一緒に暮らし始めた。財布を隠してはわからなくなり、「息子が持っていた」と。ある時にはお金を数えてばかり。伯母には食べたばかりなのに「食べ物がないんよ」と作り話の電話。気に入らないとふすまを閉じて、心を閉ざしていた。だんだん表情も乏しくなり、反応も鈍くなってきた。このままでは痴呆がひどくなると思い、痴呆老人の託老の会に参加し始めた。初めは自尊心のため「自分は来たくないけど、しょうがないから来ている」と話していた。でも次第に楽しさがわかり、迎えのバスを心待ちにしました。母の表情も明るくなり挨拶などの反応がよくなってきた。今はデイサービスやケアに出かけるのを生きがいにして、拒否、暴言が減り、だいぶおだやかになってきている。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

子どもが義母と暮らし始めてから、友人をほとんど家に呼ばなくなった。介護者のストレスを子どもにぶつかけたりすることもあるので、子どもへの影響が心配。良い介護ができない時は、家族と暮らすより、同じ症状の仲間とすごす方が義母にとっては、より幸せなのではないかと悩む。

13 (1) 介護者の年齢 52歳 女 広島県

(2) 家族構成 自分(52)、自分の父(85)、娘2人 計4人

(3) これまでの介護歴 1人 4年

(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

元来アルコール好きで、平成4年頃より失禁があるようになったのと、よく酔って転倒して打撲などで寝込むことが多くなり、平成6年、リュウマチが発症して手が不自由になったのでまったく寝たきりになり、以後今日に至っている。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

介護が長期化してくると、私自身の体力も衰えて来て、足腰の痛みが出てきているので、ショートステイを利用してリフレッシュしたいのですが、最近では老人の方が熱をよく出すので、預けられない。その為、ストレスもたまってくる。又、大学在学中の為(娘1人)と夫の単身赴任とで経済的に負担が多くなり、家計も苦しくなってきた。

14 (1) 介護者の年齢 49歳 女 愛知県

(2) 家族構成 自分(49)、夫の母(77)、その他 6人以上

(3) これまでの介護歴 2人 10年

(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

20代後半で、精神分裂病を発病しており、慢性化して現在に至っている。入院(精神病のために)はしたことがないが、診察は受け、薬も飲んでいる。12年前から

ここ10年来は過食になったり、拒食になったりし、拒食の時には栄養失調で入院した。2年前、

自室で転倒し、大腿骨骨折で入院、2ヶ月で退院したもののリハビリを拒み、寝たきりとなる。2~3ヶ月の周期で興奮時期がおとずれ、24時間、2~3ヶ月、毎日が大変なこととなる。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

慢性の分裂病患者を介護しているが(76歳)嫁となった当初から憎しみの対象となっているので、現在も興奮時期が来ると2~3ヶ月、毎日、その暴言に耐えていなければならず、こちらも精神的に参ってしまい、時折カウンセリングを受けている。下の子は8年前の小学校2年生から登校拒否を起こしており、現在中学2年だが、この9月に入ってから全登校しなくなってしまった。

2人の高齢者を介護しているが1人はショートステイをいやがっているので、1人ずつを引き離すわけにもいかず、在宅でやっている。

15 (1) 介護者の年齢 50歳 女 大阪府

(2) 家族構成 自分(50)、夫の母(85)、年寄り、夫、子ども3人 計6人以上

(3) これまでの介護歴 1人 3年

(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

7年前位から物忘れがひどくなり、自分の身の回りの管理がだんだんできなくなってきた。薬を飲んだことを忘れて何度も飲み、眠ってしまった(突然倒れて)、家の近くの道に道がわからなくなったりしはじめた。3年前に腹部大動脈へいそく症で入院、その夜から居場所や状況がわからなくなり、24時間、家族がつきそうことを病院から求められた。その後も何回か入院し、そのたびに「ぼけ」がひどくなったが、退院して2~3日すると落ち着き、「ぼけ」も軽くなる。この1年位は失禁がひどくなり、パンツ式のおむつをパンツだと思って着用。取りかえのたびに抵抗して「実家に帰る」と言いはる。

いたわられるのがきらいで、孤立してしまい、無表情になってきている。湯を沸かしたりできるが、始末ができないので目が離せない。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

主人の兄弟(及び嫁)(主人は5人兄弟の4男)達が非協力的。私は皆の親だから力を合わせて(手伝ってくれる程度。経済的にも)助け合うのが当然だと思うのだが、考え方の違い(同居者がすべてみるのが当然という意見)がトラブルのもとになりかねず、ストレスがたまる。年寄りを見ながら自宅で仕事(塾その他)をしているが、時間的にも精神的にもゆとりがなく、義母とのかわり内面カークと熱くなるがストレートには出せない。子ども(大学生と社会人)と年寄りの生活ベースのぶつかり、年寄りが病院に行くのをいやがるなど小さい悩みが山積みである。

16 (1) 介護者の年齢 42歳 女 愛知県

(2) 家族構成 自分(42)、自分の母(73)、そ

の他 計6人以上

(3) これまでの介護歴 1人 8年

(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

高血圧であったがたいへん元気で、自転車でもこへでも行った方である。7年前の冬、急に吐き気と頭痛を訴えたので病院に連れていくと即手術。動脈瘤とくも膜下出血である。何度かの手術を重ね、言葉を失い、寝返りのうてない状態になってしまった。9ヶ月の入院の末、自宅介護は無事、7年目を迎えた。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

子どもに関する役やご近所の役がいろいろまわってくるので、ときどき頭がパニック。屋敷以外にも田や畑、駐車場、主人の母が一人住まいである事、父の足腰が弱ってきた事、妹の結婚が決まらない事、主人が仕事上で悩んでいる事、子どもの勉強の事、悩んだらきりがないので、片目をつぶりながら中途半端にこなしている。

17 (1) 介護者の年齢 44歳 女 静岡県

(2) 家族構成 自分(44)、夫の父(69)、子ども2人 計4人

(3) これまでの介護歴 1人 4年

(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

病院に入院して、気管切開して、内臓にはそんなに異常がなく退院。ただ、すでにガンが転移していたけれど、本人が自宅介護を希望。全面的に介助が必要で、食事、排泄に関しては介護が必要だった。最終的には救急車で病院に運ばれて死亡。その期間は、4年の間、全面介護。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

すでに死亡したけれども、介護のために自分の仕事もやめた。介護がどんなに大変かを夫が知らず、子どもも受験の時期だったりして、大変な状態。妻は介護するのが当たり前というような態度で、ケンカも絶えなかった。やさしい言葉をかけてくれたり、全面的に手伝ってほしかった。「親の介護しないなら出ていけ」と言われたけど、おじいちゃんをそのままにしていけなかった。もう少し主人の理解がほしかった。

18 (1) 介護者の年齢 59歳 女 神奈川県

(2) 家族構成 自分(59)、夫(65) 計2人

(3) これまでの介護歴 1人 1~3年未満

(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

退職前後より受け答えが的を得なくなり診断を受ける。アルツハイマーと言われたが行く医療機関により異なり、現在はパーキンソン症候群と病名を言われた。その間前立腺肥大で2回入院し、2回目の時の入院でずいぶん進んだようです。所かまわず放尿、同室の方に迷惑をおかけした。

退院後も排尿にはすごく神経質になり素直にトイレに行かない。他所でやるを繰り返す。又身体

的には小さきみのふるえ、姿勢の悪さ、早足、筋肉の硬直、筋力の低下、知能は急激に低下し、言葉を理解できず、会話は全くできない。新聞は読まず、テレビは集中して見ない、一日フラフラと歩き(家の中)全く落ち着きがない、椅子に座ると居眠りをするというような状態です。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

会話が成立しないので気持ちが通じない。将来どうなるのか、何年続くのかと思うと気が重い。息子の結婚を考えると(ボケの親が居ると)相手が居ないのでは。

19 (1) 介護者の年齢 40歳 女 神奈川県

(2) 家族構成 自分(40)、夫の母(74)、夫、長男、二男 計5人

(3) これまでの介護歴 1人 2年

(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

はっきりした原因は特になく、25年以上前重い更年期障害にかかり、その頃まだ元気だった義母の実の母(祖母)が家事などをやっていたが、寝たり起きたりの生活を続けていましたが、その後、祖母が亡くなり義父が定年になり義母のめんどうを見るようになって、外にも出さず、何事にも手を貸しすぎて甘やかした為に、家の事はもちろん、自分の事も何もなくなり、自然に頭もぼけて歩く事もできなくなってしまう、寝たきりの状態のまま現在に至っています。(母のめんどうを見ていた父も2年前に倒れて寝たきりになり、今は老人病院に入院しています。)

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

子どもが高校生と中学生の為、学校に行く用事や自分の用事で出かけたくても自由な時間があまりなく、出かけてもいつも時間ばかり気にしてストレスがたまります。主人には姉が2人いますが「寝たきりの人を介護することの大変さ」をまったく理解しておらず、「嫁だから見るのがあたりまえ」と思っているの、いっさいの手助けもなく、ねぎらいの言葉をかけてもらった事もないので、介護する事よりストレスがたまります。

20 (1) 介護者の年齢 47歳 女 兵庫県

(2) 家族構成 自分(47)、自分の母(82)、その他 計6人以上

(3) これまでの介護歴 1人 5年

(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

大腿部骨折の為3ヶ月入院中に、手足をベッドにくくられ、睡眠剤の投与によりおかしくなり、退院させ同居する。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

思春期に入ってきている子どもと、おばあさんの関係について悩みます。

・息子がおばあさんにアホとかバカと言う。

・息子に部屋を与えたいが部屋がない。

- 21 (1) 介護者の年齢 55歳 女 広島県
(2) 家族構成 自分(55) 夫(59) その他計3人
(3) これまでの介護歴 2人 5年半
(4) 現在の心身の状態になるまでの経過
平成5年6月頃、車、仕事などでよく事故を起こすようになった為病院で検査をしてもらったとき、脳梗塞と診断され、1週間入院したら退院してから仕事に意欲がなくなり今は自宅で療養中。
(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について
主人が仕事をしていない為金銭面で苦労している。介護人の収入だけで生活を立てているため、もし自分が働けなくなったときの生活が不安。(まだ子どもが学生の為)
- 22 (1) 介護者の年齢 47歳 女 富山県
(2) 家族構成 自分(47) 夫の父(86) お年寄り 計3人
(3) これまでの介護歴 1人 5年
(4) 現在の心身の状態になるまでの経過
無記入
(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について
夫が死亡、男の子2人を抱えて進学、就職と大変な時期、義母は痴呆症状がある。特養老人ホームには250人の順番待ちであり、老健施設に入所中。義父は両足不自由で手すりでの歩行は辛うじてであり、他の移動は四つん這いの状態です。義父の年金も僅かであり、この先老人等にかかる費用のことを考えますと、悩める問題です。
- 23 (1) 介護者の年齢 70歳 男 富山県
(2) 家族構成 自分(70) 妻(70) 長男、二男、長男の子 計5人以上
(3) これまでの介護歴 1人 9年
(4) 現在の心身の状態になるまでの経過
昭和63年に脳梗塞で倒れる。その後リハビリで(毎日午前中、夫が同行)現在のように車いすで何とか移動出来る。
(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について
息子達に嫁の来手がない。(別居してもいいと言っているが)
- 24 (1) 介護者の年齢 35歳 女 神奈川県
(2) 家族構成 自分(35) 夫の母(67) 夫、娘 計4人
(3) これまでの介護歴 1人 1年
(4) 現在の心身の状態になるまでの経過
94年10月、脳こうそくで左半身マヒとなる。不整脈による心房細動が原因。
(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

1歳の子どもの子育て、仕事、親の面倒の3本立て。ヘルパー代が収入を上回り、経済的に負担。自分の時間、外出の機会が少ない。でも3つとも、できるところまでやる。仕事を続けながら。

- 25 (1) 介護者の年齢 41歳 女 神奈川県
(2) 家族構成 自分(41) 自分の母(77) その他 計5人
(3) これまでの介護歴 2人 10年
(4) 現在の心身の状態になるまでの経過
パーキンソン氏病により25年位前になり徐々に歩行ができなくなり、年1~2回入院し、薬の調整をしながらおりましたが、10年前にまったく歩行ができなくなりました。
2年前より、食事がのどを通らなくなり、胃に穴を開けチューブでの食事になりました。その頃からだんだんと話もしなくなり、自分の世界に入り始め、今は話しかけをしてもあまり反応がなくなりました。
(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について
子どもが登校拒否になり病院に行く間、5時間、母が一人である。昼食が3時ごろになってしまう。昼に訪問看護婦の方が来て下さると安心なのですが。(母の昼食をしてくれるとよい)
母は老人保健施設でのショートステイしかできず、私がケガをした時にもすぐに入る事ができず、幸いかかりつけの病院で預かってくれて本当に助かったが、心配です。
- 26 (1) 介護者の年齢 42歳 女 神奈川県
(2) 家族構成 自分(42) 夫の父(78) その他 計6人以上
(3) これまでの介護歴 1人 1年
(4) 現在の心身の状態になるまでの経過
記入なし
(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について
・介護に対する考え方、仕方が家族で異なる為のマサツ
・オムツ代など思ったよりかかる。公的な援助(オムツの)は主人の収入では出ないと言われた。
・家族全員揃って出かけることが出来ない。
- 27 (1) 介護者の年齢 44歳 女 佐賀県
(2) 家族構成 自分(44) 自分の母(77) その他 計6人以上
(3) これまでの介護歴 2人 10年
(4) 現在の心身の状態になるまでの経過
H1年 白内障のため全盲になる。その後手術で見えるようになる。その頃から少し物忘れがひどくなり、だんだん出来ないことが多くなった。(料理の味が変わったり、火を消し忘れたり)
(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について
時間的な余裕が全くない。家事と仕事と介護で

1日があっという間にすぎてしまう。子ども達にもがまんさせることが多い。

28 (1) 介護者の年齢 53歳 女 大分県

(2) 家族構成 自分(53)、自分の母(89)、夫、娘2人 計5人

(3) これまでの介護歴 3人 8年

(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

上のぼけの症状があつて、毎日30分おき位に母の居場所をたしかめさがしまわっていたが(夜も良く寝ず困りました)今年3月に骨折して2ヶ月半入院してから足が立たなくなり、食事も良くなるのを通さず、今はらくのみで、流動食と1日1本の点滴で家で見ています。

父と弟を亡くした後1人で生活していたのですが、淋しさから7年前位から時間、それと食事の支度など心配面が見えて来たので、私の嫁ぎ先に連れて来て一緒に生活を始めたが、その当時は夫の両親がいたので、私も気を使いながらの母の看病で、よく母をしかっていたのを、今、反省しながら思い出します。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

・私に兄弟がいないので介護の代わりがなく(入院させても代わりがないので介護の私がバテてしまう)友達、子どもの所へも行けない。デイサービスは月2回あるが時間が限られているので遠出はできない。

・89歳の母...飲み込みが悪く、粒だったものは勿論、液体でもなかなかのどをこさない。

・ショートで預けてもいいのだが、毎日点滴(1本)しているので心配。食事の件。

29 (1) 介護者の年齢 42歳 女 福岡県

(2) 家族構成 自分(42)、夫の母(79)、父、子ども3人 計6人以上

(3) これまでの介護歴 1人 2年

(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

夫の兄(31歳で死亡)がなくなって精神的にショックもあり、それから(67歳くらい)現在79歳までパーキンソン病を患っています。

2年前に義父が死亡するまで、義母の面倒はほとんど義父がしていました。

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

自分なりに努力し、一生けんめいやりすぎて疲れた。義母はパーキンソンで精神不安定で、私がおこなったことはすべてイヤな(母にとって)ことばかり、前向きに生きてゆこうとしない。私はやりすぎた。

身体も心も疲れ、子どもたちにもやさしくなれなくなってしまった。夫には、あと半年しかもたないと告白。

30 (1) 介護者の年齢 48歳 女 東京都

(2) 家族構成 自分(48)、夫の母(85)、その

他 計6人以上

(3) これまでの介護歴 2人 6ヶ月位

(4) 現在の心身の状態になるまでの経過

1995.5 脳血栓にてたおれる(京都・義妹宅) 京都の病院に入院、リハビリ。

1995.9 東京へ帰る。歩行可能、構音障害、えん下わるくあり、北里東病院に構音障害リハビリにかかりりながら在宅介護。自分の事は自分でできるが、非常に精神的に不安定。外からの介護は在宅介護サービスよりのみとりと家事援助をたのむ。老人用おべんとう(えん下可能な)週1回たのむ。1992.2月(原文のまま)肺炎併発緊急入院

1996.2 入院。リハビリしようとするもののすぐ肺炎併発。経口でのえん下はすっかり無理となる。胃ろう設置(1996.4)

1996.9 退院(在宅で寝たきりで帰宅)

訪問看護、在宅家事サービスヘルパー、入浴サービス使う。医師往診、OT往診。家でモリハビリを少しする。

1997.1

(5) 現在抱えている問題や悩み、心配事について

在宅をしているの負担は、やはりまわりの理解があつても動いてくれないということがつかれま(口ばかりで手はかさない)。又、我が家の家族関係につき外があれこれ批判する(夫が手伝わない、子ども達が手伝わない)ことが多い(とくに親せきや訪問看護婦さんですら)ことは、介護者本人にとって大きな心の重荷でした。私は口であれこれ説教して人を変えることは大きな意味で不可能と思っています。事実、私自身の苦勞をみて夫も子どももずいぶん変わりました。